

**北海道における  
クラウド等を活用した  
地域におけるICTへの  
投資の促進に関する  
意見交換会  
開催報告**

# 開催概要

- ・ **日時：2015年3月2日 9:30 - 12:00**
- ・ **会場：北海道総合通信局会議室**
- ・ **参加者：**
  - ・ **構成員17名**
  - ・ **総務省6名**
  - ・ **オブザーバー7名**

# ユーザーの現状

## 建設業

工場の現場の状況や計画を把握しなくてはならないので、工場の状況を逐次、把握できるようなシステム、ASPも活用している

## 観光業

ホテル業界はネットエージェントへの依存が高まる中で予約管理、POSに関してはICTを使わざるを得ない業界

ホテルごとにサーバ管理しており、初期投資や改修などの負担が大きい。クラウドを使うことで少ない初期投資データが統合できるのは魅力的である

# ユーザーの需要

## クラウド

コンピューターリテラシーの低い層でも使えるシステムを  
僻地での通信環境・Wi-Fiの整備・通信コストの低減  
クラウドの有用性についての情報提供を

## 電子自治体

電子入札への需要は高いが、使いにくい  
申請から契約まで一貫して使えるシステムであるべき  
自治体任せでは遅々として進まないなので総務省が指導力を  
発揮すべきである

# ユーザーの需要

## 協業

協会バス事業をやる際にホテル間で予約情報を共有する必要がありホテル・地域一帯で進められるとよい

JTBが電気自動車の充電器を設置した事例から、データを収集している企業からエンドユーザーへのフィードバックが的確な戦略につながる

地方でクラウド化を進めるためには、地元で核となる人材が必要なので、住民・自治体双方にそういった人材を育成・配置して活性化する必要がある

# 地元ICTベンダーの課題

## 人材

北海道には技術者を輩出する教育機関が多くあるので、クラウドに特化した技術者を育てられるのではないかとクラウド対応のための人材への再投資に対する補助

## 補助金

小規模な組織では補助金などの申請がしづらい  
クラウドサービスの開発支援・導入コストの支援、特に既存のものの改善などに使える補助金があるとよい  
新規のシステム投資に対する補助はあるが、既存のシステムをクラウドに移行する等のケースに対する補助も

# 地元ICTベンダーの課題

## 経営

ユーザー企業には「クラウド=安い」という概念が強く  
既存のICTベンダーは手を上げにくい

従来の人月単価ビジネスからの脱却が難しい

開発手法・管理・経営の手法も変える必要がある

## 人材

既存の人材をクラウド・SaaSに対応させるためには、  
教育などの再投資コストが大きい

業務知識のある人材から若い人材への知識の移行ができる  
仕組み・環境がない

# 地元ICTベンダーの課題

## その他

クラウド以前に経営者の経営革新の意欲が必要であり、  
ノープランでクラウドを導入してもなにも変わらないが、  
なかなか中小企業の経営者がここに行き着かない

長期的な観点でオンプレミスとクラウドを比較して、  
トータルコストにどれくらい差があるのかを比較できる  
ものが必要

個人事業主や数名で起業して小規模ユーザー企業にクラウド・SaaSの導入支援をしている人たちが出てきているので、  
そのような層との連携も必要ではないか

一社一社個別にやっていく時代ではなく、いかに協業して  
ゆくかが重要、このような意見交換会は非常に有意義

# まとめ

総じてユーザー企業からのクラウド・SaaSに対する需要は高いものと思える

また、すでに一部ではすでにより活用が進んでいる現状もうかがえた

それに対しICTベンダー側からはこれまでのビジネスとのギャップから躊躇する姿勢がうかがわれる

次回は既存の受託開発企業ではなくすでにクラウドに積極に取り組んでいるICTベンダーも交えたい

次回4月中旬開催予定